

FoE Japan green earth

フレンズ・オブ・ジ・アース・ジャパン

NEWSLETTER vol.83 summer 2022 | www.foejapan.org



20周年!

宇津木の森・里山再生活動

里山保全活動
at 宇津木
FoE Japan

CONTENTS

02-03 特集 森林

宇津木の森・里山再生活動 20周年!

04-05 ACTION REPORT

住民・市民運動の勝利! 日本政府がインドラマユ石炭火力の支援中止

投資家が日本企業に迅速な気候変動対策を要求

原発・ガスはグリーン投資の対象!? EUタクソノミーに異論続出

横須賀石炭訴訟、ついに結審。判決は11月28日に

information 『世界の気候変動かるた』 みんなではじめる クライメート・アクション!

06 立ちこぎ活動日誌! Vol.33

宇津木の森・里山 再生活動 20周年!



お昼は小屋前の広場でピクニック気分

宇津木の森の里山再生活動は、2002年の活動開始から今年で20周年を迎えました。活動開始当初、そのほとんどが笹藪に埋め尽くされ、どこに何が植えられているかもわからないほどに荒れていた森は、20年間のたくさんのボランティアの方による活動を経て、かつての里山の風景を取り戻してきました。里山の機能を取り戻そうとするこの活動は、エネルギーや食糧の自給という課題に解決のヒントを与えてくれる活動でもあります。これまでの活動を振り返りながら、活動する上で大事にしていることなどについてお話しします。

里山って何?

「里山」とは、人里に隣接する森や山のこと。燃料となる薪や炭、畑に入れる腐葉土となる落ち葉、農具や生活用具の素材から山菜やキノコなどの食料まで、民家の裏山から賄っていました。里山は、人の手が入ることで豊かな自然のバランスが保たれていました。ところが、1950年代後半からの燃料革命によって私たちの生活は大きく変わり、エネルギーも食べ物も生活用品も、どこかで大量に作り出されたものを簡単に購入できるようになりました。その結果、必要がなくなった里山には人の手が入らなくなり、次第に荒れていきました。

しかし、「暮らしに必要なだから、森に手を入れ、繰り返し育てる」という長年続けられてきた里山の循環的な営みは、近年の化石燃料に依存する生活からの脱却や気候変動対策の観点からもあらためて注目され、その役割が見直されつつあります。近年では、全国各地で里山を再生しようという活動が活発に行われています。

一度失われた里山を再生する

宇津木の森は、正式には「宇津木緑地保全地域」という東京都の指定する保全地域の一つで、八王子市にあります。元々は、周辺地域も含めて一帯が畑や雑木林の広がる里山でした。1970年代頃から宅地開発の波が押し寄せ、周辺のほとんどが



〔左〕道具小屋予定地の草刈りの様子 〔右〕見渡す限りのクズ畑（共に2002年9月）

住宅地になっていく中、1992年に、わずかに残った5ヘクタールほどの土地が緑地保全地域に指定され、宅地化を免れました。

FoE Japanがここで活動を開始したのは2002年。管理の手が入らなくなってから相当の年月が経っていて、荒れ放題でした。今使っている散策路も、かろうじてあるという感じで、草刈りをさぼるとすぐになくなってしまような状態だったそうです。初期のメンバーが、FoE Japanの理事を務めた建築士の石田信男さんの指導の下に道具小屋を建てたものの、小屋の周り半径数メートル以外は背丈以上ある笹の壁に阻まれて見通せない状態。現在の小屋前の広場は、栗の木があるのもわからないほどだったそうです。今の様子からは全く想像がつきません。

最初の5、6年はひたすら手刈りで笹を刈って活動するエリアを拡大する作業が続き、2007年頃になってようやくどこに何が植わっているかという全体像が見えてきたと言います。それからさらに10数年、少しずつエリアを拡大して、森の全体に手が入るようになってきました。一度は完全に失われてしまった里山が、ボランティアのみなさんの力で、かつての風景を取り戻しつつあります。

宇津木の森では、里山だったころの植生をできるだけその



里山マップ。様々なエリアがあります



宇津木周辺の空中写真(出典：国土地理院)

ままに管理するように努めています。笹藪を切り開いて見えてきたのは、竹林、雑木林、針葉樹林、栗林、梅林、お茶の木、生垣、ユズ畑、畑の跡地など。5ヘクタールの中に様々なエリアが存在していることがわかりました。この土地が積極的に活用されていたことがうかがえます。

作業はしてもいいし、しなくてもいいよ



現在は、毎月1回の定例活動に加えて、平日を含む月3回の「がっつり活動日」を設けて活動をしています。定例活動日は毎回20人ほど、多い時には50名超の方が参加します。初参加の方やゆるっと楽しみたい方向けに、作業だけではなく、この森を自由に満喫してもらう時間も確保するようにしています。「作業はしてもいいし、しなくてもいいよ」と伝えていて、一日中力仕事で汗を流す人もいれば、カメラをもって季節の草花を撮影して回る人、子どもと遊ぶ人、のんびりおしゃべりをを楽しむ人など様々です。子どもたちも鎌をもって草刈りに挑戦する子もいれば、秘密基地を作ってみたり、落とし穴掘りに夢中になる子もいます。まずは森で過ごす時間を楽しんでもらえたらと考えています。

一方で、がっつり活動日は文字通りがっつり汗を流して作業したい人向けの活動日です。定例活動日だけでは終わらない作業を常連メンバーの方たちが中心となって、計画的に進めてくれています。

活動に参加すると、おみやげとして、里山の恵みを持ち帰ることもできます。春にはタケノコ、お茶の葉、初夏には梅や山椒、秋のはじめに栗、冬にはユズと一年を通して様々な里山の恵みを味わえることも楽しみの一つです。

大事にしていること

宇津木の森の活動で、大事にしていることが2つあります。一つは、宇津木の森を、使うための森にしたいということ。ただ森の景観をきれいに維持するというだけでは本当の里山の再生にはなりません。かつての里山がそうであったように、伐採した木材や竹、季節ごとの収穫物を積極的に活用し、里山の機能の再生を目指していきたいと考えています。

いまは伐採した木材は薪や炭として活用したり、保全地域



内のベンチや子どもたちの遊具として活用しています。竹は日野市内の田んぼの用水路のしがらみ柵として活用いただいています。細い枝は粉碎してチップにして散策路整備に使い、落ち葉は腐葉土に、他にもアイデアを出し合って活用方法を考えています。

二つ目は、宇津木の森を人が集まる森にすることです。この森が将来にわたって維持されていくためには、近隣に住む方たちが「ここを守りたい」と思えるような場所であることが大事だと思っています。活動日だけ人が集まる、というのではなく、日常的にいろんな方が遊びにきてこの森で過ごしてくれるような、愛される森にしたい、と考えています。

作業自体には関心がなくても、森に遊びに来てもらえるように、夜の森でのコンサートやきのご観察会、野草を食べる会など、様々なイベントを企画したりもしています。また、森の入り口に案内看板を設置するなどした結果、近隣の方たちが散歩コースにしているのを以前よりも多くみかけるようになりました。また、森のようちえんや近所の幼稚園の子どもたちが定期的に宇津木を利用して来ています。

「こんな森にしたい!」を原動力に

秋には
栗

長年参加している方に参加し続けている理由を聞いてみたところ、自分が関わったことで少しでも自然環境がよくなったと感じられる瞬間がうれしい、と話してくれました。初期の頃の笹藪に埋もれた里山を覚えていて方であればなおさらでしょう。また、個性豊かで多様なメンバーが集まって、仕事の人間関係とは別の楽しい仲間がいる、というところが魅力だという方もいます。みなさん、様々な想いをもって参加してくださっているようです。



宇津木の森の活動は、こうしたたくさんのボランティアメンバーに支えられて、20年間続けることができました。定例活動やがっつり活動の作業に参加して下さるボランティアは一年に累計600名を越えます。中でも、自らが作業するのはもちろん、作業計画を立てるところから、ボランティアの受け入れや作業の指導まで積極的に引き受けてくださる常連メンバーたちは本当に頼もしいです。また時にはお酒を飲みながら、時には真面目に集まって、「今後の宇津木の森をどうしていきたいか」という話を一緒に考えてくれます。

こうしてみると、宇津木の森が大好きなボランティアメンバーたちの「こんな森にしたい!」「こんなことやってみたい!」が原動力になって、この活動はここまで発展してきたのだと感じます。これからも、参加して下さるみなさんと一緒に、宇津木の森をもっとすてきな里山にしていけたらと思います。

(篠原ゆり子)

百聞は一見にしかず。まずは一度遊びに来てみませんか？詳細と参加申込みについてはQRコードからご覧いただけます。ご参加お待ちしております。



ACTION REPORT

FoE Japanの
各活動の報告

AID

開発金融と環境

住民・市民運動の勝利！ 日本政府がインドラマユ石炭火力の支援中止

6月22日、インドネシアのインドラマユ及びバングラデシュのマタバリ2石炭火力発電事業について、政府開発援助（ODA）による支援の中止を外務省が発表しました。両事業は気候危機の深刻化、住民の生活への甚大な影響、両国の電力供給過剰を理由に、国内外から支援の中止が再三求められていました。

現地インドラマユでは農地収用がすでに進む中、多くの農民の生計手段の喪失、また大気汚染の悪化を懸念し、住民が6年以上、事業に強く反対し続けてきました。同事業の環境許認可の取消しを求める裁判では、住民が地裁で勝利したものの、高裁、最高裁では敗訴。国家事業という大きな壁にぶち当たりました。また地裁での勝利後、身に覚えのない罪で農民らが不当に逮捕され、計7名が5、6カ月の刑務所生活を強いられました。

農民の運動を支えてきた現地NGOは今回の中止を「大きな勝利」と伝えています。「自分も逮捕されるかもしれない」という緊張感の中でも諦めることなく一致団結し、粘り強く国家事業に抗ってきた住民の闘いが、まさに報われた形となりました。

FoE Japanは住民の来日の支援や署名等を通じ、彼らの声を日本に届けてきました。今回ようやく支援中止が決定したことは、気候正義や人権保護を一貫して求めてきた国内外の市民社会の成果とも言えます。（波多江秀枝）



日本の支援中止の報せに農地で喜びの声をあげるインドラマユ農民
（写真提供：現地農民）

投資家が日本企業に 迅速な気候変動対策を要求

民間企業に対し、気候変動対策を求めて声をあげる投資家が世界中で増えています。また、投資家だけではなく、NGOが株主となり直接企業に対策強化を働きかける事例も増えています。今年、日本では銀行や商社、電力会社に対し、過去最大件数の気候変動関連の株主提案が行われました。

NGOが関わる株主提案は、気候ネットワーク、マーケット・フォースが団体として、またFoE Japanを含むいくつかのNGOのスタッフやボランティアが個人として参加し、三菱商事、東京電力ホールディングス、中部電力、三井住友フィナンシャルグループに対してなされました。これらの企業は2050年ネットゼロを掲げる一方で、化石燃料事業への投資の維持・拡大を行っています。他にも自治体や海外の機関投資家が関西電力やJ-Powerに対し、脱炭素化に関連する株主提案を行っています。

提案内容は、1.5℃目標に整合する短期・中期の削減目標の設定や情報開示でしたが、否決されてしまいました。一方で、提案には一定の支持も集まっており、気候変動対策に関してこれまで以上に投資家から企業へ厳しい目が向けられていることが明らかになったと言えます。引き続き企業による気候変動対策強化を求めて、さまざまな形で活動を行っていきます。（深草亜悠美）



三菱商事の株主総会会場近くでアクション

NO NUKES

福島支援と脱原発

原発・ガスはグリーン投資の対象！？ EUタクソノミーに異論続出

グリーン投資を促進するための「EUタクソノミー」に原発と天然ガスを含めるという欧州委員会の提案が、7月6日欧州議会本会議で承認されました。

仏ストラスブールの欧州議会本会議場の前では、環境活

動家らが、「原発・ガスはグリーンではない」「プーチンに贈り物をするのをやめろ」などと書いたバナーを掲げ抗議。「グリーンウォッシュを防止する目的のEUタク



欧州議会本会議場前にて抗議する環境活動家たち(写真提供: FoE フランス)

ソノミーが、最大のグリーンウォッシュの手段を生み出した」とFoEドイツのヤン・ヴァローデ氏は批判しました。Fridays for Futureドイツは「この決定は破滅的だ。欧州議会は化石燃料産業と独裁者を支援することを選んだ」と述べました。

投資グループからも疑問の声があげられました。「欧州社会的責任投資フォーラム」はガスと原発を含めることはタクソミーの「信頼性と有用性に悪影響を与えるだろう」と警告しています。

批判の声は日本からも。FoE Japanが呼びかけ、261のNGOが、欧州委員会宛てに「原発は、ウランの採掘から原発の運転、廃炉に至るまで、放射性廃棄物を生み出し、持続可能性や環境保全とは真逆のもの」とする書簡を送りました。

今回の決定の影響は大きく、日本への波及も予想されます。FoE Japanも引き続き、声をあげていきたいと思ひます。

(満田夏花)

わらず定員を超える約60名が会場に集まりました。結審では原告代理人から、気候危機の現状や建設に係る環境アセスメントの瑕疵が改めて提起されました。

2020年、日本政府は2050年までのカーボンニュートラルを宣言しましたが、そのために求められる脱石炭政策は未だ打ち出していません。それどころか、アンモニア混焼やバイオマスへの転換という形で石炭火力発電所の維持を推し進めています。温室効果ガスの削減にすつながらない技術の導入で石炭火力を維持するのではなく、再生可能エネルギー中心の社会へと転換すべきです。

一方、横須賀市内では、気候危機を多くの市民に知ってもらおうと、4月に住民が主体となって映画「グレタひとりぼっちの挑戦」の上映会が開催され、1,000人以上が来場しました。その後も4月と6月に横須賀気候マーチを開催し、のべ300人以上が参加、横須賀石炭火力の建設中止を訴えました。市民の間で石炭火力建設の問題が着実に共有されつつあります。

判決は11月28日14:00から東京地方裁判所103号法廷です。ぜひご参加ください。(高橋英恵)



6月に開催した第2回横須賀気候マーチにて

CLIMATE

気候変動・エネルギー

横須賀石炭訴訟、ついに結審。 判決は11月28日に

6月6日、横須賀石炭火力訴訟の結審がありました。約3年続いた裁判の最後の審理ということもあり、雨天にもかかわらず

information 『世界の気候変動かるた』 みんなではじめる クライメート・アクション!

世界では森林火災が多発し、たくさんの動物や人々の命がおびやかされています。夏の気温が30度を超える日が増え、熱中症になる人が増えています。強い台風や大雨により、日本でも海外でも避難せざるを得ない人が増えています。このような気候変動の現実を子どもたちに伝えるには、どうしたらよいでしょうか?

FoE Japanは合同出版とともに「世界の気候変動かるた」を制作しました。気候変動の現状と世界での取り組みや、毎日の生活や社会・未来を良くするために私たちがすべきことを、小学生が遊びながら学べるものを目指しました。各札の内容は、私たちの生活に密着しています。「かわいい絵だね」「ニュースで見たやつだ!」子どもはもちろん、大人にも大好評。遊ぶたびに発見がある「かるた」です。



監修: 国際環境 NGO FoE Japan
発行: 合同出版株式会社 定価: 3,740円(税込)



立ちこぎ活動日誌!

Vol.33

新スタッフ
紹介

よろしく
お願いします!

初めまして! この度、開発と環境チームの一員になりました、^{おさだひろき}長田大輝と申します。高校の頃から国際協力に興味があり、当時は途上国が原因の社会問題を解決したいなんて思っていたのですが、大学と大学院で人権について学ぶうち、先進国の都合でグローバルサウスに貧困と人権侵害をもたらす構造的不正義こそが問題だと思うようになりました。気候変動、貧困、人権侵害を単体ではなく構造として捉えて、システムチェンジを通じて問題解決を目指すFoE Japanの哲学と活動は、私にとって他のどの組織よりも共感するものであり、毎日仕事をしながらやりがいを感じています。まだまだ分からないことばかりですがFoE Japanの理念を実現するために粉骨砕身頑張りますので、みなさまよろしくお願いたします!



HIROKI
OSADA



MIZUKI
MOUGI

こんにちは、広報の^{もうぎみずき}舞木瑞季です。前職ではテレビ番組の制作をしていました。しかし気候変動の現状を知り、こんなことをしてはいられない!とFoE Japanに飛び込みました。豊かで便利な日本社会に暮らしていると、問題に気づかず悪気のないまま自然環境や他者を傷つけてしまっていることがあります。電気や携帯電話、ファストファッション、使い捨て商品、安くて美味しい食品など、その生産の背景では環境破壊や人権侵害が行われていることがあります。しかし、消費者にはそういった情報は行き届いていません。FoE Japanの活動を通して、少しでも多くの人に環境・人権問題に関心を持ってもらいたいです。まだ知らない人が多いだけで、知ればきっと一人一人の行動は変わり、社会システムも変えられると信じています。関心ごとは、フェミニズムや気候正義、自然食です。みなさんはどんなことに関心がありますか?これからはみなさんと語り合う場も作っていききたいと考えていますので、是非ご参加ください!どうぞよろしくお願いします。

FoE Japan (フレンズ・オブ・ジ・アース・ジャパン)とは

世界73カ国にネットワークを持ち、国連にNGOとして正式に承認されているFriends of the Earthのメンバーです。地球上のすべての生命(人、民族、生物、自然)が互いに共生し、尊厳をもって生きることができる、平和で持続可能な社会を目指し、1980年より日本での活動を続けています。

会員募集

FoE Japanの活動は皆さまのご支援によって支えられています。持続可能な社会をめざし、国内外の環境問題に取り組む私たちを応援してください。

会員特典

- 入会時にオリジナルエコグッズと会員証をお届けします。
- ニュースレター(季刊)をお届けします。
- 各種イベント等、環境学習講師派遣料、出版物等が割引になります。
- 会員限定のイベントやプロジェクトに参加いただけます。

会員

種類	年会費
個人	5,000 円
	10,000 円
	30,000 円
	50,000 円
学生	3,000 円
ファミリー	3,000 円
団体(一口)	10,000 円
法人(一口)	50,000 円

お申込み方法

パンフレットから
事務局にご請求ください

ウェブサイトから
www.foejapan.org/join/

お支払い方法 [下記のいずれかの方法をご選択できます]

- 郵便振替 郵便振替口座 00130-2-68026 FoE Japan
- 銀行振込 城南信用金庫 高円寺支店(普)358434 エフ・オー・イー・ジャパン
*銀行振込の場合は、お手数ですが送金後事務局までご連絡ください。
- 銀行自動引落し 所定の自動引落利用申込書をご利用ください。
- クレジットカード ウェブ決済をご利用いただけます。

寄付の募集

金額の多少に関わらず随時寄付金を募集しています。FoE Japan へのご寄付は税制優遇措置(寄附金控除)の対象になります。お支払いは会費と同様です。皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

編集後記

特集記事に宇津木の話を書くことになって、私が担当する以前の里山の活動について、いろんな人に聞いたり、過去の写真を調べてみたりしました。思った以上に大変な活動の上に今の里山があるのだと知って驚きました。せっかくなので記憶が薄れないうちに20年の記録をまとめたいね、と話しています。(Y)

green earth Vol.83 2022年7月31日発行

発行人 ランダル・ヘルテン
編集 舞木瑞季 篠原ゆり子 佐々木勝教
デザイン 畠山功子
印刷 株式会社 文星閣



認定NPO法人 FoE Japan
(フレンズ・オブ・ジ・アース・ジャパン)

〒173-0037 東京都板橋区小茂根1-21-9
TEL 03・6909・5983 FAX 03・6909・5986
<https://www.FoEJapan.org>
E-MAIL info@foejapan.org